

令和 5 年度

「運営に関する計画」



大阪市立茨田南小学校

令和 5 年 4 月

大阪市立茨田南小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 令和 4 年度の全国学力・学習状況調査では、平均正答率で国語においては全国平均、大阪市平均を上回り、算数においては全国平均、大阪市平均とともに下回ったが、令和 3 年度の結果よりも向上しており、大阪市平均との差も縮まってきている。3 年おきに実施される理科の調査では大阪市平均と同値であった。大阪市学力経年調査では、総合点において 6 年が大阪市平均を上回ったが、3・4・5 年ではわずかに下回った。教科別では、各学年とも総じて国語科で高いポイントをあげており、5・6 年の英語はともに大阪市平均を上回った。逆に算数科においては 3～5 年で大阪市平均を下回り低いポイントとなっており理科においても同様に課題がみられる。コロナ禍が沈静化しつつあり教育活動の制限が緩和されてきた今年度は、習熟度別指導や、理科専科授業などの効果的な学習形態を取り入れ、基礎・基本の学力の向上を図るとともに、研究テーマである「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業研究に取り組んでいくことが必要である。
- ここ数年のコロナ禍の影響の中、タブレットなど I C T 機器を活用した学習を継続して取り入れることにより児童はいろいろな場面で積極的に I C T 機器を活用して学習をすることができるようになり、低学年の児童のタイピング技術の向上もみられた。今年度も継続して取り入れていきたい。
- 授業規律を守る順法意識は向上してきているが、自尊感情については高いとはいえない。学校安心ルールを定着させるとともに、思いやりの心や、ありがとうの気持ちを更に育っていく必要がある。
- 令和 4 年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果、男女とも体力合計点で大阪市平均を下回った。数年来課題であった長座体前屈の記録の向上は見られたが、コロナ禍の中、運動機会の減少が見られ、全国的な児童の体力低下が懸念されていることを踏まえ、今後もさらに継続して体力向上の取り組みを進めていかなければならない。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90 % 以上にする。
- 令和 7 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させ、全校で 8 名以下にする。
- 防災教育を実施するとともに、令和 7 年度末の校内調査において、「学校や家庭・地域などで地震や津波・火災が起こったとき、どう行動したらよいかを知っていますか。」の項目に肯定的な回答をする児童の割合を 90 % 以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和 7 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 35 %以上にする。
- ・令和 7 年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。
- ・令和 7 年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80 %以上にする。
- ・令和 7 年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 55 %以上にする。
- ・令和 7 年度の小学校学力経年調査における正答率 5 割以下の児童を、いずれの学年も令和 3 年度より 4 ポイント減少させる。
- ・令和 7 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における 5 年生の体力合計点を、男女とも令和 3 年度より 5 ポイント向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・デジタル教材を活用した朝学習等を週 2 回以上実施する。
- ・令和 7 年度末までに、すべての教室（特別教室を含む）に大画面テレビ（大型ビジョン）を配備する。
- ・令和 7 年度までに、年次有給休暇を年間 10 日以上取得する教職員の割合を 100 %にする。
- ・令和 7 年度までに、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合を 50 %以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
【基本的な方向1、安全・安心な教育の推進】
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】

学校園の年度目標

- ・防災教育を実施するとともに、令和5年度末の校内調査において、「学校や家庭・地域などで地震や津波・火災が起こったとき、どう行動したらよいかを知っていますか。」の項目に肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。
【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を30%以上にする。
【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】

- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。
【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を前年度以上にする。
【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】

学校園の年度目標

- ・令和5年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。
【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】

- ・令和5年度校内体力テストにおいて長座体前屈の平均の記録を前年度より向上させる。
【基本的な方向5、健やかな体の育成】

- ・令和5年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における5年生の体力合計点を、男女とも令和4年度より2ポイント向上させる。
【基本的な方向5、健やかな体の育成】

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

- ・デジタル教材を活用した朝学習等を週1回以上実施する。

【基本的な方向6、教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】

- ・年次有給休暇を年間10日以上取得する教職員の割合を95%以上にする。

【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

- ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準2を満たす教員の割合を80%以上にする。

【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

学校園の年度目標

- ・各学年全員公開の研究授業をICT機器を利用しながら行う。（計7回）

【基本的な方向6、教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】

- ・全教員1回以上、公開授業を行う。

【基本的な方向6、教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式 2)

大阪市立茨田南小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標(小・学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 80 % 以上にする。 【基本的な方向 1、安全・安心な教育の推進】 ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】 ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育を実施するとともに、令和 5 年度末の校内調査において、「学校や家庭・地域などで地震や津波・火災が起こったとき、どう行動したらよいかを知っていますか。」の項目に肯定的な回答をする児童の割合を 85 % 以上にする。 【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1、安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童によい生活習慣を身に着けさせる。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート項目「チャイムの合図をきいて行動することができますか」で肯定的な回答の児童の割合を 90 % 以上にする。 ・不登校児童(年間 30 日以上の欠席)の人数を昨年度より減少させる。 	
<p>取組内容②【基本的な方向 2、豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもどうしの「よいところみつけ」に取り組む。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あいさつの大切さ」についての話し合いの機会を取り入れ、自尊感情を育てる。 ・アンケート項目「自分にはよいところがあると思いますか。」で肯定的な回答の児童の割合を 75 % 以上にする。 ・アンケート項目「あなたは困っている友達を助けることができますか。」で肯定的な回答の児童の割合を 90 % 以上にする。 	

取組内容③【基本的な方向 2、豊かな心の育成】

- ・縦割り班活動を充実させたり他学年との交流を図ったりして、違いを認め合い、学年を超えた仲間づくりや思いやりの心を育てる。

指標

- ・「全校遠足」、「ハッピーフェスティバル」、「6年生ありがとう会」などの児童縦割り集会を実施する。

取り組み内容④【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】

- ・防災教育の授業を実施し、防災に対する意識付けに取り組む。

指標

- ・避難訓練を年間3回、各学級で防災に関する学習を年1回以上実施する。
- ・校内アンケート「学校や家庭・地域などで地震や津波・火災が起った時、どう行動したら良いかを知っていますか。」で肯定的な回答の児童の割合を85%以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式 2)

大阪市立茨田南小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none">・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 30 %以上にする。 【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。 【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70 %以上にする。 【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 60 %以上にする。 【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を前年度以上にする。 【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】<p>学校の年度目標</p><ul style="list-style-type: none">・令和 5 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント減少させる。 【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】・令和 5 年度校内体力テストにおいて長座体前屈の平均の記録を前年度より向上させる。 【基本的な方向 5、健やかな体の育成】・令和 5 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における 5 年生の体力合計点を、男女とも令和 4 年度より 2 ポイント向上させる。 【基本的な方向 5、健やかな体の育成】	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none">・体験的活動や I C T を活用し、意欲を高める授業に取り組む。またオンライン授業を活用し、子どもたちの学びを保障する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none">・全ての学級でタブレットを活用した学習に週 1 回以上取り組む。	

<ul style="list-style-type: none"> ・3年～6年は年3回以上、1年、2年は1回以上オンライン授業を行う。 ・アンケート項目「タブレットやデジタル教科書を使うと学習が楽しい」で肯定的な回答を85%以上にする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「『主体的・対話的で深い学び』に導く授業展開の追求」をテーマとして研究授業に取り組む。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年、全員公開の研究授業を行う。(計7回) ・全教員1回以上の公開授業を行う。 ・アンケート項目「あなたは友だちと話し合う学習は好きですか」で肯定的な回答を80%以上となるように取り組む。 	
<p>取組内容③【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態をより的確に把握し、単元教材に応じた効果的な授業に取り組む。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート項目「授業はよくわかりますか」で肯定的な回答を80%以上となるように取り組む。 ・校内アンケートにおける「宿題をしていますか」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を95%以上にする。 ・校内アンケートにおける「家庭学習(宿題以外の学習。自主学習を含む)をしていますか」の項目について肯定的な回答をする児童の割合を70%以上にする。 	
<p>取組内容④【基本的な方向5、健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの校内平均値を向上させる。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年で長座体前屈の校内平均値が上がるよう取り組む。 	
<p>取組内容⑤【基本的な方向5、健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年を通して全校で体力向上の取り組み(駆け足、縄跳び、ストレッチ体操)を実施する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内アンケートにおける「運動することが好き」の項目について肯定的な回答をする児童の割合を年度当初より向上させる。 ・体力向上の取り組みを年間10日以上実施する。 	
<p>取組内容⑥【基本的な方向5、健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の体力向上を図ると共に、食育の推進に取り組む。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート項目「朝ごはんを食べていますか」で肯定的な回答を95%以上となるように取り組む。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式 2)

大阪市立茨田南小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を活用した朝学習等を週 1 回以上実施する。 【基本的な方向 6、教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 年次有給休暇を年間 10 日以上取得する教職員の割合を 95 %以上にする。 【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 2 を満たす教員の割合を 80 %以上にする。 【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年全員公開の研究授業を ICT 機器を利用しながら行う。(計 7 回) 【基本的な方向 6、教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 全教員 1 回以上公開授業を行う。 【基本的な方向 6、教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 【基本的な方向 6、教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 <ul style="list-style-type: none"> 朝の会、モジュールタイム等を活用してデジタル教材、協働学習支援ツールを活用した学習に取り組む。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を活用した朝学習等を週 1 回以上実施する。 	
取組内容② 【基本的な方向 6、教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 <ul style="list-style-type: none"> ICT を活用し、意欲を高める授業に取り組む。またオンライン授業を活用し、子どもたちの学びを保障する。(再掲) 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> 全ての学級でタブレットを活用した学習に週 1 回以上取り組む。 3 年～ 6 年は年 3 回以上、1 年、2 年は 1 回以上オンライン授業を行う。 	
取組内容③ 【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 <ul style="list-style-type: none"> 学校行事の取り組み時間を見直し、行事等の精選をはかる。また、ゆとりの日を週 1 回設定し実施する。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 2 を満たす教員の割合を 80 %以上にする。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

※「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準2

- 基準2 ア 1年間の時間外勤務時間が720時間を超えないようにすること
イ 1か月の時間外勤務時間が45時間を超える月を1年間に6月までとすること
ウ 1か月の時間外勤務時間が100時間を超えないようにすること
エ 連続する複数月(2か月、3か月、4か月、5か月、6か月)のそれぞれの期間について
時間外勤務の1か月当たりの平均が80時間を超えないようにすること

※基準1・時間外勤務時間→1か月45時間以内、1年間360時間以内